

北海道河西郡芽室町剣山山中で発生した帯広分校訓練機事故
に関する航空事故調査報告書の公表について

平成23年7月28日に航空大学校帯広分校所属の訓練機が北海道河西郡芽室町剣山山腹に衝突して、学生及び教官2名の計3名が死亡し、学生1名が重傷を負った事故に関し、本日、運輸安全委員会より航空事故調査報告書が公表されました。

改めまして、本件事故による犠牲者の方々のご冥福をお祈りするとともに、重傷を負った学生に心よりお見舞い申し上げます。また、関係者の方々に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

航空大学校においては、事故直後より、いったん全ての運航を停止し、法令等の遵守の再徹底やアサーション等に関する安全教育、訓練の実施方法等に関する徹底的な安全性の検証等を行った上で訓練を再開し、その後も更なる安全性の強化を図るため、安全管理体制の強化等を図ってきており、このような事故を二度と起こさないという強い決意の下に、安全を第一とした訓練に努めてきております。

本日公表された運輸安全委員会の航空事故調査報告書においては、同委員会が行った事故調査結果を踏まえ、同種事故の再発防止に資するため、航空大学校に対し、勧告がなされていると承知しております。航空大学校は、同委員会が行った困難な事故調査に対して敬意を表するとともに、今後、航空事故調査報告書及び勧告の内容について十分精査した上で、適切な改善措置を検討して参る所存です。

航空大学校といたしましては、これからも安全運航に一層務めて参りますので、引き続き関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成25年12月20日
独立行政法人航空大学校
理事長 紀勝幸

航空大学校において講じた再発防止・安全強化策の概要

○学生訓練再開に向けた安全性の検証

教官の技量について臨時審査（口述審査及び実技審査）を実施した後、各訓練科目について模擬訓練を行い、訓練の安全性に問題がないことを確認した。

○学生訓練再開後に講じた再発防止策

【安全管理体制の向上】

安全管理体制を総合的に見直し、抜本的な安全対策を進めている。

- ・ 航空事故調査官経験者を安全統括管理者を補佐する位置の職務に起用した。
- ・ 安全に影響を及ぼすおそれのある事案が発生した場合のリスク評価方法の見直しを行った。
- ・ ヒヤリハットレポートを受け付ける専門のグループを設置し、組織的な分析及び情報共有を実現した。
- ・ 毎飛行後に学生からアンケートを収集するなど、安全に影響を及ぼすおそれのある情報を適切に管理職が把握できる体制を整えた。
- ・ 教官及び学生の毎日のフライト前の健康状況の自己申告を強化した。

【安全教育の向上】

- ・ 全教職員・学生を対象に、定期的に外部専門家（ヒューマンファクターの専門家、運輸安全委員会航空事故調査官等）を招いて安全教育を実施した。
- ・ ヒューマンエラーに関わる事故を未然に防ぐことを目的として、CRM訓練を開始した。

※CRM（Crew Resource Management）とは、安全で効率的な運航を達成するために、全ての利用可能な人的資源、ハードウェア及び情報を効率的に活用すること。